

(様式第8号)



平成28年度 函館市市民協働モデル事業実績報告書

平成29年4月27日

函館市長様

住所 函館市若松町33番6号
団体名および 認定特定非営利活動法人
函館視覚障害者図書館
代表者名 理事長 大浅 昭夫

補助事業等の名称 情報提供支援講習会事業

平成28年5月17日付け函福障をもって補助金等の交付決定を受けた上記の補助事業等は、平成29年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	150,000	円
補助金等領収済額	金	150,000	円
補助金等領収未済額	金	0	円

市民協働モデル事業の実績書

事業の名称	情報提供支援講習会																							
団体名	認定特定非営利活動法人 函館視覚障害者図書館																							
総事業費	317,417 円 (うち自己資金 167,417 円)																							
事業の内容(対象者, 実施方法等)	<p>高齢者・視覚障がい者等へのボランティア活動を行っている方や、施設の職員、情報提供支援に興味のある方等を対象に、視覚障害者の行政書士、弱視者への福祉援助(ロービジョンケア)者、同行援護の専門家などを講師として、座学と実技を踏まえた、全6回の講習を行った。</p> <p>日時 平成28年6月～12月までの第1土曜日(6月のみ第4土曜日) 13時00分～15時30分</p> <p>場所 函館市総合福祉センター 4階 会議室</p> <p>内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 6/25</td> <td> 情報提供支援の概要 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子 </td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>第2回 8/6</td> <td> 同行援護での情報支援や代読代筆 講師 日本盲人福祉施設協議会 常務理事 高橋 秀夫 </td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>第3回 9/3</td> <td> ロービジョンケアの情報障害 講師 大活字普及協会 理事 市橋 正光 </td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第4回 10/1</td> <td> 行政書士業務との違い、代筆支援の注意 講師 行政書士藤野事務所 行政書士 藤野 朋子 </td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>第5回 11/5</td> <td> 代読の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子 </td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>第6回 12/3</td> <td> 代筆の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子 </td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>				内容	参加人数	第1回 6/25	情報提供支援の概要 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	39	第2回 8/6	同行援護での情報支援や代読代筆 講師 日本盲人福祉施設協議会 常務理事 高橋 秀夫	34	第3回 9/3	ロービジョンケアの情報障害 講師 大活字普及協会 理事 市橋 正光	35	第4回 10/1	行政書士業務との違い、代筆支援の注意 講師 行政書士藤野事務所 行政書士 藤野 朋子	36	第5回 11/5	代読の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	34	第6回 12/3	代筆の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	36
		内容	参加人数																					
	第1回 6/25	情報提供支援の概要 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	39																					
	第2回 8/6	同行援護での情報支援や代読代筆 講師 日本盲人福祉施設協議会 常務理事 高橋 秀夫	34																					
	第3回 9/3	ロービジョンケアの情報障害 講師 大活字普及協会 理事 市橋 正光	35																					
	第4回 10/1	行政書士業務との違い、代筆支援の注意 講師 行政書士藤野事務所 行政書士 藤野 朋子	36																					
	第5回 11/5	代読の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	34																					
	第6回 12/3	代筆の基本と演習 講師 函館視覚障害者図書館 館長 読書権保障協議会 委員 森田 直子	36																					
<p>アンケート集計 大変満足 15人 満足 17人 普通・不満 なし</p> <p>参加者数：申込者 53人 実受講者 40人 延べ受講者 214人 修了者(80%以上の受講 6×80% 4.8回以上受講) 32人</p>																								

市民協働モデル事業の実施による効果等調書

事業の公益性・課題の改善	<p>高齢者や視覚障がい者等、読み書きに困難を伴う人々は数多く存在し、今後も増えていくことが予想されています。</p> <p>視覚によるものが80%を占めているといわれる人間の情報取得の中で、それらの情報が得られなくなった際の社会からの孤立感や、絶望感はたいへん大きく重大なものです。</p> <p>そうした状況を改善すべく、この問題を周知し、適切な情報提供支援が行えるよう、社会全体で行っていくことが必要と考え、講習会を実施しました。</p> <p>受講者の方には、この課題を十分理解していただき、今後こうした活動を役立てていきたいとの声をいただきました。</p>
事業の効果・成果	<p>現代では、個人情報の取り扱いに注意を要する情報等、単に文章を伝えることだけではない状況があり、読み書きを支援するという事は、こうした点にも適切に対応していかななくてはならない点などを理解していただきました。</p> <p>講習を受けて頂いたことで、より情報提供の大切さを理解し、より正確な情報を提供するスキルを身につけて頂くことができ、多くの読み書きに不自由している方への支援につながる成果をあげることができました。</p>
事業の具体性・実現性	<p>視覚障がい者の近親者や、医療従事者の方、高齢者施設の方等から、講習へ参加いただきました。</p> <p>個人情報の取り扱い方、代読支援の在り方、同行時、災害時の情報支援について、ロービジョンケアについてなどの専門家を講師として、情報提供支援をわかりやすく解説してもらったほか、実務的な演習を行い、年間6回の講習会で情報提供支援のスキルを習得していただきました。</p>
協働の役割分担の明確化・相乗効果	<p>函館市は、講習会内容の精査と実施にかかる支援をし、当法人において、講習会開催の実務を担当いたしました。</p>
先進性・アイデア性	<p>函館視覚障害者図書館の読み書き(代読・代筆)情報支援への取り組みは先進的で、全国の障がい者施設職員や、市民の方々からの問い合わせが多く、様々な支援を行っており、この講習会も高い評価を頂きました。</p> <p>読み書きという日常生活への根本的な支援は、必要かつ重大であるにも関わらず、忘れられがちになっていましたが、その点に焦点をあて、多くの方々が参加したことにより、情報提供支援に対する裾野を広げていけました。</p>
費用の妥当性・経費節減	<p>専門家による講習は必要不可欠と考え、報償費・旅費は妥当でした。</p> <p>外部より招聘する講師のほかは、現在まで実績のある人材を講師として、ボランティア報酬でお願いして報償費を抑えることができました。</p> <p>また、運営、当日のアシスタントなどもすべてボランティアで行い、交通費のみの支給とした他、ポスター・パンフレット等の印刷についても、低価格に抑え、経費節減をいたしました。</p>

市民協働モデル事業の収支決算書

【収入の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費	
函館市補助金	150,000	150,000	150,000	150,000	0	0	
自己資金	150,000	150,000	167,416	167,416	17,416	17,416	
預金利息	0	0	1	1	1	1	
合計(A)	300,000	300,000	317,417	317,417	17,417	17,417	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費		うち補助 対象経費	
報償費	85,000	85,000	94,000	94,000	9,000	9,000	
旅 費	174,000	174,000	178,372	178,372	4,372	4,372	
需用費	17,000	17,000	22,663	22,663	5,663	5,663	
役務費	24,000	24,000	22,382	22,382	1,618	1,618	
合計(B)	300,000	300,000	317,417	317,417	17,417	17,417	

※ 収支差額(A) - (B) 0 円

- (注) 1 収入の内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
2 支出の内訳は、様式第10号別表に金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。